

令和3年度版「中学道徳 とびだそう未来へ」  
3年 年間指導計画・評価の視点(案)

○本表は、4・6・11・1・2月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。  
○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それに替えて郷土資料等を活用したりすることを想定しています。

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
4 月 ③	1 父のひと言  「責任を全うする」  【A 自主, 自律, 自由と 責任】	1	父が筆者に発した言葉の意味を考えるを通して、責任をもつことの大切さを自覚し、自分の責任を全うしようとする態度を育てる。	<b>1 自分のもっている「役割」を出し合う。</b> ○自分の役割をきちんと果たしてよかったなと思った経験はあるだろうか。 <b>2 「父のひと言」の前半 (p.8～9) を読み、「私」の悩んでいる状況を理解する。</b> <b>3 「父のひと言」の後半 (p.10～13) を読み、父がかけた言葉について話し合う。</b> ●「……おまえのカワウソが寂しがっているぞ……。」という父の言葉は、「私」の生き方にどんな影響を与えただろう。 ●最後まで責任をもって行いたいと思ったことはあるだろうか。なぜそう思ったのだろう。 <b>4 責任を果たすことについての考えをまとめる。</b> ●責任を果たすことについて、今日の授業で新たに学んだことを出し合おう。	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 責任をもつことの大切さについて、様々な道徳的価値とのつながりを踏まえながら考えを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 責任をもつことの大切さについて、自分との関わりの中で考えを深めている。	総合的な学習の時間 委員会活動 部活動	
	2 僕は友達を裏切ったのか?  「真の友情」  【B 友情, 信頼】	1	部活動について「僕」と友達の間で起きたことの意味を考えるを通して、個性や価値観の相違を超えた友情の尊さについて考え、よりよい友情を培っていかうとする態度を育てる。	<b>1 友達について考えていることを出し合う。</b> ○「友達っていいな」と思うのは、どんな時だろう。 <b>2 「僕は友達を裏切ったのか？」を読み、個性や価値観の相違を超えた友情の尊さについて話し合う。</b> ●「僕」は友達から何を与えてもらったのだろう。 ●「僕」は友達を裏切ったのだろうか。みんなで話し合ってみよう。 <b>3 真の友情を培うために自分には何が必要か、考えをまとめる。</b> ●真の友情をつちかうために必要なものはなんだろう。キーワードを考えよう。	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 友情のすばらしさについて、登場人物の心情を理解しながら多面的・多角的に考えを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 真の友情を培っていくうえで自分に補っていかなければならないことについて、自らの経験と重ねて考えを深めている。	部活動	
5 月 ③	3 歩きスマホをどうするか  「自制する心」  【A 節度, 節制】	1	歩きスマホの危険性や、スマホ使用者の意識を考えるを通して、スマホとの望ましいつき合い方に気づき、節度を守り、節制を心がけようとする心情を育てる。	<b>1 歩きスマホの危険性を考える。</b> ○歩きスマホをしている人を見かけたことはあるだろうか。あなたは、どうだろう。 <b>2 歩きスマホをなくす方法を考える。</b> ●危険なことや迷惑なことはわかっているのに、歩きスマホが減らないのはなぜだろう。 ●歩きスマホを規制するための法律は、必要だろうか。話し合ってみよう。 <b>3 スマホとのつき合い方を考える。</b> ●あなたは、スマートフォンや携帯電話とどのようにつき合っているかと思うだろうか。	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 歩きスマホの問題の解決に規制は必要なのかについて、マナーとの違いを考えながら考えを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 歩きスマホをなくすためにはどうしたらよいかについて、節度、節制という視点から自分なりの解決方法を考えている。	技術・家庭(技術分野) 情報モラル学習	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
5 月 ③	4 平和への願い  「平和と共存」  【C 国際理解, 国際貢献】	1	参戦国相互の人々の立場で考え議論することを通して、平和と共存を実現することの大切さと難しさに気づき、多様な他者と主体的に関わっていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1 外国の人々や文化についての思いを出し合う。 ○外国の人々と接したり、外国の文化に触れたりする中で、感じたことや考えたことをあげてみよう。 2 「平和への願い」を読み、相手の立場に立って考えるということについて話し合う。 ●語尾を震わせながら話すおばあさんの言葉を聞いて、「僕」はどんな気持ちになったのだろう。 ●あなただったら、オードリーさんにどんな言葉をかけるだろうか。隣の人とペアでやってみよう。 ●「同じ人間の人類」として私たちが忘れてはいけないことはなんだろう。 3 人類の一員として自分が様々な人々とどのように関わっていきたいか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 国際理解と平和的共存のためにとるべき態度について、登場人物のそれぞれの立場を理解しながら、話し合いを通して考えを深めている。 【自分のこととして考える】 多様な他者とともに生きるために大切にすべきことについて、「僕」の言動を共感的に捉え、自らの経験や学習と重ねて考えを深めている。	学校行事 平和学習	
	5 変わりゆく地球  「地球とともに生きる」  【D 自然愛護】	1	私たちの暮らす地球の姿を知り、自然との共存を考えることを通して、自然を愛護し、自然に対して謙虚に向き合おうとする態度を育てる。	1 私たちの生きる地球の姿に関心を向ける。 ○私たちが生きている地球の姿に関心を向けたことがあるだろうか。 2 私たちの生きるこれからの地球の姿を考える。 ●あなたにとって快適な地球は、どんな姿だろう。 ●将来の世代に、あなたはどんな地球を残したいだろうか。 ●地球とともに生きるために、あなたは何をしようと思うだろうか。 3 私たちの生きる地球との関わりを考える。	【多面的・多角的に考える】 将来の地球の姿を考えて、どのように自然と共存していくかを考える議論を通して、自然を大切にしていこうという思いを深めている。 【自分のこととして考える】 人間と自然との関わりの中から、自然との共存について考えを深め、将来に残す地球のために努力しようという意欲を高めている。	理科 社会（公民的分野） 環境教育	目標 13, 15
6 月 ④	6 卒業文集最後の二行  「いじめを許さない心」  【C 公正, 公平, 社会正義】	1	いじめの加害者が抱える自責の念や、被害者の気持ちについて考えることを通して、差別や偏見のない社会を実現していこうとする態度を育てる。	1 「いじめ」について感じていることを出し合う。 ○差別や偏見をなくすために、私たちが考えるべきことはなんだろう。 2 「卒業文集最後の二行」を読み、筆者の「取り返しのつかない心の傷」について話し合う。 ●このできごとが「私」にとって「取り返しのつかない心の傷」になっている理由について考えよう。 ●T子さんの作文の最後の二行を読んで、あなたはどう感じただろうか。 ●「全ての人に公平に接すること」をばんでいるものがあるとしたら、それはなんだろう。話し合ってみよう。 3 差別や偏見をなくすために私たちが努力すべきことを考える。	【多面的・多角的に考える】 友達の考えや「私」の後悔を、自分の考えと比較しながら、差別や偏見のない社会の実現について考えを深めている。 【自分のこととして考える】 何十年たっても心の傷が癒えない「私」の心の葛藤を正面から捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	生徒会活動 特別活動 社会（公民的分野）	目標 16
	7 あなたは顔で差別をしますか  「互いの個性や立場の尊重」  【B 相互理解, 寛容】	1	筆者の体験について考えることを通して、それぞれの個性や立場を尊重し、寛容な心をもって相互に理解し、謙虚に他に学び、自らを高めていこうとする態度を育てる。	1 不確かな情報をもとに行動してしまった経験を出し合う。 ○外見だけで人を判断してしまったことはないだろうか。 2 「あなたは顔で差別をしますか」を読み、寛容な心をもつためには何が大切かを考える。 ●藤井さんは自分のどんなところを変えたのだろう。それによってどんな変化が起きたのだろう。 ●藤井さんの生き方から、あなたはどんなことを学んだだろうか。 3 他の道徳的価値との関わりを確かめ、学びを深める。 ●差別や偏見のない社会を築いていくためには、どんなことが大切なのだろう。	【多面的・多角的に考える】 筆者の生き方や考え方から、個性や立場を尊重した相互理解の大切さについて、様々な場面での価値を理解しながら考えを深めている。 【自分のこととして考える】 差別や偏見のない社会を築くために大切なことについて、自らの経験を振り返って考えを深めている。	社会（公民的分野）	目標 10

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
6 月 ④	8 昇き縄  「地域社会の一員として」  【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	1	「僕」が抱く博多祇園山笠への思いについて考えることを通して、郷土の伝統や地域社会の一員としての自覚の大切さに気づき、郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする態度を育てる。	<b>1 郷土の伝統行事に関わった体験を出し合う。</b> ○郷土の伝統や文化に触れたり関わったりしたことはあるだろうか。 <b>2 「昇き縄」を読み、郷土の伝統や文化のよさや意義について話し合う。</b> ●「僕」は、博多祇園山笠のどんなところに魅力を感じているのだろうか。 ●あなたがこれから大切にしたい、守っていきたい郷土のよさはなんだろうか。 ●人はなぜ、郷土の伝統や文化に魅力を感じるのだろうか。 <b>3 郷土の伝統や文化を引き継ぐ地域社会の一員としてどうありたいかを考える。</b>	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 郷土の伝統や文化のよさについて、多面的・多角的に考えている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 郷土や地域社会と自分との関わりの中で、伝統や文化の大切さについて考えている。	総合的な学習の時間	目標 11
7 月 ②	9 ハゲワンと少女  「かけがえのない命」  【D 生命の尊さ】	1	写真が語る事実から、生命の有限性を考え、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。	<b>1 かけがえのない命を守るにはどうすればいいのか考える。</b> ○かけがえのない命を守るためには、どうすればよいのだろうか。 <b>2 かけがえのない命を守るために、カーターさんがとった行動を考える。</b> ●写真を撮影したあと、カーターさんが泣き続けていたのはなぜだろう。 ●カーターさんの行動について、あなたはどう思うだろうか。 <b>3 かけがえのない命を守るためにはどうしたらよいか、考えをまとめる。</b> ●「かけがえのない命を守る」ということは、どういうことだろう。	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 少女を助ける行為も写真を撮影する行為も、どちらも命を救おうとした行為であることに気づき、生命を尊重するためにはどうしたらよいかについて考えを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> かけがえのない生命を大切にするにはどうしたらよいかを、自分自身と重ね合わせて考え、生命を尊重しようとする思いを深めている。	社会（地理的分野）	
	10 無限の道  「真理を求め続ける」  【A 真理の探究、創造】	1	筆者の生き方について考えることを通して、自らの信念や生き方について考え、真理を探究していくこととする態度を育てる。	<b>1 将来なりたい自分の姿を出し合う。</b> ○あなたは、自分の未来にどんな「予想図」を描いているだろうか。 <b>2 「無限の道」を読み、自らの生き方について考える。</b> ●「はっと我に返った」時、「私」はどんなことに気づいたのだろうか。 ●歌舞伎の芸の「限りない道」を歩み続けてきた「私」を、支えてきたものはなんだろうか。 ●あなたは、どんな「道」を切りひらいていこうと思うだろうか。自分の「今」と「これから」を、立ち止まって考えてみよう。 <b>3 本時の授業を振り返って、自分の考えをまとめる。</b>	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 友達の考えや筆者の生き方を自分の考えと比較しながら、真理を探究していく生き方について考えを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 自らの信念や生き方について、筆者の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	国語 社会（歴史的 分野、公民的 分野）	
9 月 ③	11 鳩が飛び立つ日 ～石井筆子～  「よりよい社会の実現」  【C 社会参画、公共の精神】	1	筆子の生き方や行いについて考えることを通して、よりよい社会の実現に向けた社会連帯の自覚への理解を深め、社会での役割と責任をよりよく果たそうとする実践意欲と態度を育てる。	<b>1 これから大切にしていきたいと考えていることを出し合う。</b> ○あなたはこれから、どんな生き方をしたいと思っているだろうか。 <b>2 「鳩が飛び立つ日」を読み、よりよい社会の実現に向けて自分ができることについて話し合う。</b> ●筆子はどんな思いで、亮一とともに障がいのある子どもたちの教育に取り組んだのだろうか。 ●筆子が、一度は廃止しようと考えた学園を続けていったのは、どんなことに気づかされたからだろう。 ●筆子の生き方から、あなたはどんなことを学んだだろうか。 <b>3 社会をよりよいものにするために必要なことは何か、考えをまとめる。</b>	<b>【多面的・多角的に考える】</b> よりよい社会を実現するためにみんなで連帯する意義について、筆子の努力が卒業生や故郷の人にも認められた点を理解しながら、考えを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 筆子の生き方を共感的に理解するとともに、社会の中でのこれからの自分のあり方に引きつけて考えを深めている。	キャリア教育	目標 4

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
9 月 ③	12 フットライト  「互いのよさを認め合 う」  【B 友情, 信頼】	1	「俺」と由紀の人間関係に ついて考えることを通し て、互いのよさを認め合 い、向上させる関係の尊さ について考え、よりよい人 間関係を培っていこうと する態度を育てる。	1 友達との関係について思っていることを出し合う。 ○あなたは、友達とよい人間関係を築くことができているだろうか。 2 「フットライト」を読み、相手を理解することについて話し合う。 ●「俺」が由紀のことをもっと理解しようと思ったのはどうしてだろう。 ●友情と愛情は、違うのだろうか、同じだろうか。 3 個性の相違を超えて相手を大切に思うことの体験談を聞き、自分もそうしたい という心情を高める。	【多面的・多角的に考える】 相手を理解し認め、大切にしようとする 心情の大切さについて、登場人物の心情 を理解しながら考えを深めている。 【自分のこととして考える】 相手を理解し認め、大切にしようとする 心情の大切さについて、自分なりに考え たり、終末の説話を聞いて振り返ったり している。	特別活動	目標 5
	13 日本の伝統文化 将棋  「伝統の継承」  【C 我が国の伝統と文化 の尊重, 国を愛する態度】	1	プロ棋士の藤井聡太さん や加藤一二三さんの将棋 に対しての思いを考える ことを通して、将棋が日本 の文化として人から人へ と受け継がれていること に気づき、自らもその担い 手であることを意識する 心情を養う。	1 将棋について知っていることを出し合う。 ○世界に伝えられている日本の伝統文化には、どのようなものがあるだろう。 2 日本の文化である将棋について考える。 ●「すごく強い棋士」とは、どんな棋士だろう。 ●「将棋文化」はどうしたら大輪の花を咲かせることができるようになるのだろう。 3 日本の伝統文化について考える。 ●日本の伝統文化を伝えることは、どんなことにつながるだろう。	【多面的・多角的に考える】 プロ棋士の藤井聡太さんや加藤一二三さ んの将棋に対しての思いを多面的・多角 的に考え、受け継がれる伝統について思 いを深めている。 【自分のこととして考える】 日本の伝統文化が人から人へと受け継が れていることに気づき、自らもその担い 手であることを受け止めている。	社会（地理的 分野、歴史的 分野）	
10 月 ④	14 サルも人も愛した 写真家  「自然との共存」  【D 自然愛護】	1	野生動物と人間の共存に ついての葛藤を通して、自 然と人間、自己との関わり について考えを深め、自然 との調和の中で生かされ ていることを自覚し、共存 していこうとする態度を 育てる。	1 野生動物による被害について知っていることを出し合う。 ○自然を守り、自然と共存するとは、どういうことなのだろう。 2 「サルも人も愛した写真家」を読み、自然を守り、自然と共存することについ て話し合う。 ●サルによる被害に遭ったおばあさんから言われた言葉を、松岡さんはどう受け止 めたのだろう。 ●あなたが松岡さんの立場なら、サルの駆除に協力するだろうか、しないだろうか。 それはなぜだろう。 ●人間が生活していくことと、自然を守ることとの関わりについて考えよう。 3 自然と共存するあり方について考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 自分たちの生活を守ると同時に野生動物 の命を守ることも大切であるということ について、松岡さんの心情を理解しなが ら考えを深めている。 【自分のこととして考える】 サルを愛し、自然との共存を願っている 松岡さんの葛藤を共感的に捉え、自分だ ったらどうするかという視点で考えを深 めている。	理科 環境教育	目標 15
	15 ひび割れ壺  「自分らしい生き方」  【A 向上心, 個性の伸長】	1	ひび割れ壺と水くみ人との やりとりから、自分の個 性をいかして自分らしく よりよく生きるためには どんなことが大切なのか を考え、実践しようとする 意欲を育てる。	1 「個性」について考える。 ○自分らしく生きるとは、どういうことだろう。 2 「ひび割れ壺」を読み、自分らしく生きることについて話し合う。 ●最後の水くみ人の言葉から、気づいたこと、考えたことを出し合おう。 ●自分らしく生きるためには、どんなことが大切だろう。 ●あなたが考える「自分の長所・短所」を、もう一度見つめ直してみよう。 3 自分らしく生きるとはということなのか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 自他の短所や欠点をリフレーミングする 活動を通して、「自分らしさ」を見つめ直 し、自分らしく生きることについて考え を深めている。 【自分のこととして考える】 自分らしく生きるために大切にすべきこ とについて、ひび割れ壺の悩む気持ちを 共感的に捉え、自らの経験と重ねて考え を深めている。	音楽 美術	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
10月 ④	16 二通の手紙 「法やきまりの意義」 【C 遵法精神、公德心】	1	規律ある安定した社会の実現を目ざし、きまりや法の意義について深く考え、主体的に守ろうとする態度を育てる。	<b>1 「きまり」についてもっているイメージを出し合う。</b> ○どんな場合でも、きまりは優先されるべきなのだろうか。 <b>2 「二通の手紙」を読み、きまりや法について考える。</b> ●元さんがはればれとした顔で身のまわりを片づけ、職場を去っていったのはなぜだろう。 ●姉弟を入園させた元さんの判断を、あなたは思うだろうか。 ●きまりや法は、なんのためにあるのだろうか。 <b>3 「きまり」について、自分の考えをまとめる。</b>	<b>【多面的・多角的に考える】</b> きまりや法の意義について、話し合いを通して考えを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 元さんの言動を踏まえながらも、遵法について、自らの経験と重ねて考えを深め、自分の言葉でまとめ、記述している。	社会（公民的分野）	
	17 裁判員制度を考える 「よりよい社会の実現」 【C 社会参画、公共の精神】	1	裁判員制度の意義を考えたことを通して、社会の形成に自分自身も責任をもつ必要があることに気づき、よりよい社会の実現を目ざそうとする心情を育てる。	<b>1 社会を守るきまりについて考える。</b> ○社会の一員として、あなたは、社会とどのように関わっていこうと思うだろうか。 <b>2 よりよい社会の実現について考える。</b> ●裁判に国民の感覚を取り入れる必要はあるのだろうか。 ●裁判員の候補になったら、あなたは思うだろうか。 ●これからの社会では、どのような裁判が行われるべきだろうか。 <b>3 これから自分が作っていききたい社会を考える。</b>	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 裁判員制度について様々な意見を聞きながら議論し、よりよい社会の実現と自分との関わりについて考えを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 自分自身が裁判員の候補者に選出されたらどうするかを考えることから、社会への主体的な関わりについて考え、よりよい社会を実現しようとする思いを深めている。	社会（公民的分野） 生徒会活動	
11月 ④	18 校長先生の模擬面接 「礼儀の意義」 【B 礼儀】	1	校長先生との模擬面接での愛花のとまどいを通して、時と場に応じた適切な言動について考え、形の根底にある礼儀の意義を理解し、他者に主体的に関わっていくための判断力を育てる。	<b>1 日常生活から、礼儀について想起させる。</b> ○お互いに気持ちよく過ごすために、ふだん心がけていることはあるだろうか。 <b>2 「校長先生の模擬面接」を読み、礼儀のあり方について話し合う。</b> ●面接官が「おかけください。」と言わなかったら、どうすればよいのだろうか。 ●礼儀にとって大切なことはなんだろう。 ●ルールとマナーとエチケットの違いについて話し合ってみよう。 <b>3 本時の学習で感じたことや考えたことをまとめる。</b>	<b>【多面的・多角的に考える】</b> ルール、マナー、エチケットの相違点と共通点を話し合い、時と場に応じた礼儀の大切さについて、考えを広げている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 時と場に応じた適切な言動について、自らの経験と重ねて考えを深めている。	キャリア教育	
	19 カーテンの向こう 「気高い生き方」 【D よりよく生きる喜び】	1	ヤコブのとった行動について考えることを通して、人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、誇りある生き方をしようとする心情を育てる。	<b>1 自分の生き方を考える。</b> ○あなたは、誇りをもてる生き方をしているだろうか。 <b>2 「私」の生き方を考える。</b> ●カーテンの向こうを見た時の「私」は、どんな気持ちだっただろう。 ●あなたは、ヤコブがとった行動をどう思うだろうか。 ●窓ぎわのベッドに移った「私」は、このあとどうしただろう。 <b>3 これからの自分は、どう生きるかを考える。</b>	<b>【多面的・多角的に考える】</b> ヤコブの行動について様々な意見を聞き、誇りをもてる生き方について自分自身の考えを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> ヤコブの生き方を捉え直して「私」の行動を考える中から、自分自身の誇りをもてる生き方について考えている。	特別活動	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
11 月 ④	20 ふきのとう  「勤労を通して社会に奉仕する」  【C 勤労】	1	働くことについて悩みながらも踏み出していく「私」の姿を通して、勤労の尊さを理解し、勤労を通して社会に奉仕する気持ちを高め、進んで社会の発展向上に努めようとする意欲を育てる。	<b>1 無医地区で働くことに対するイメージをもつ。</b> ○働くことの原動力になっているものはなんだろう。 <b>2 「ふきのとう」を読み、働くことの原動力になっているものについて話し合う。</b> ●「私」は、土手のふきのとうを見ながら、何に気がついたのだろう。 ●「孤独感も、後悔心も、きれいに消えてしまった」のはどうしてだろう。 ●社会人として働くうえで、大切なことはなんだろう。 <b>3 働くことの意味や意義について、自分の考えをまとめる。</b>	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 社会人として責任をもって働くということについて、「私」の心情や友達の考えなどから考えを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 勤労を通して社会に奉仕するということについて、「私」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	キャリア教育	
12 月 ③	21 いのちの花プロジェクト  「生命の尊厳」  【D 生命の尊さ】	1	殺処分された動物について考えることを通して、生命の尊厳に気づき、生命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることに感謝の念をもとうとする態度を育てる。	<b>1 飼われなくなったペットの現状を考える。</b> ○命の重さについて考えてみよう。 <b>2 ペットとの関わり方を考える。</b> ●飼い主の責任にはどんなものがあるだろう。 ●動物たちは、人間にどう関わってほしいと考えているだろう。 <b>3 命の重さについて考える。</b> ●あなたは、命の重さとう向き合っていくと思うだろうか。	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 生命の尊さについて、命の「共通性」「平等性」「連続性」などの視点から、思いを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 自分自身がペットといかに関わるかを考えることから、生命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることに感謝の思いをもち、生命を敬おうとする思いを深めている。	技術・家庭(家庭分野)	
	22 家族の思いと意思表示カード  「かけがえのない生命の尊重」  【D 生命の尊さ】	1	意思表示カードに記された姉の思いと、家族の思いを通して、生命をどのように大切にするかを考え、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。	<b>1 臓器移植について考える。</b> ○臓器提供について、さまざまな考えがあるのはなぜだろう。 <b>2 臓器提供意思表示カードについて考える。</b> ●父の考えと母の考えを、それぞれどう思うだろうか。 ●「命を大切にする」とは、どういうことだろう。 ●あなたは、臓器提供意思表示カードにどんな意思を示そうと思うだろうか。 <b>3 自分の命をどう生かすか考える。</b>	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 自分と関わりの深い家族の思いから、生命のかけがえのなさについて考え、自他の生命を尊重しようとする思いを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 自分だったら意思表示カードにどんな意思を示すかを考えることから、かけがえのない生命への思いを深めている。	社会（公民的分野）	
	23 あふれる愛  「世界平和と人類の発展」  【C 国際理解、国際貢献】	1	マザー=テレサの生き方から学んだことを話し合うことで、人間の存在や価値についての理解を深め、国際的な視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする態度を育てる。	<b>1 本時の学習テーマについて知る。</b> ○「あふれる愛」というタイトルから思いつくことを、できるだけたくさんあげてみよう。 <b>2 「あふれる愛」を読み、世界の平和と人類の発展のためには何が大切なのかについて話し合う。</b> ●マザー=テレサが瀕死の人を病院に運んだり、「死を待つ人の家」をつくったりしたのは、どんな思いからだろう。 ●マザー=テレサの生き方からどんなことを学んだか、グループごとに話し合ってみよう。 ●あなたは、これから誰に、どんな「愛」を届けたいか、考えてみよう。 <b>3 自分は今後、どのように世界平和と人類の発展に関わっていききたいかを考える。</b>	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 友達の意見を共感しながら聞き、自分の意見との違いを理解しながら、マザー=テレサの生き方から学んだことを広げ、深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> マザー=テレサの生き方から学んだことを、自分の今後のあり方や行いに結びつけて考えを深めている。	社会（公民的分野）	目標 10

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
1 月 ③	24 片足のアルペンスキ ーヤー・三澤拓  「目標に向かう強い意 志」  【A 希望と勇気、克己と強 い意志】	1	夢に挑戦し続けている三 澤さんの生き方から、その 原動力となっているもの について考え、目標を実現 するために希望と勇気をも って実行し、困難に屈せ ず粘り強くやり抜こうと する態度を育てる。	1 将来の夢や目標について考える。 ○あなたは今、どんな夢や目標をもっているだろうか。 2 「片足のアルペンスキーヤー・三澤拓」を読み、夢や目標をもった生き方について話し合う。 ●三澤さんが競技人生を続ける原動力となっているものはなんだろう。 ●三澤さんの生き方から学んだことを出し合おう。 3 自分自身の夢や目標を見つめ直し、それにどう向かっていくのかを考える。 ●自分の夢や目標を実現するためにこれから取り組みたいと思っていることをあげてみよう。	【多面的・多角的に考える】 夢の実現に向けて挑戦し続ける三澤さんの原動力となっているものについて、話し合いを通して多面的・多角的に考えている。 【自分のこととして考える】 自分の夢や目標を実現するためにこれから取り組みたいことについて、考えを深めている。	キャリア教育	
	25 テーブルの卵焼き  「家族の絆」  【C 家族愛、家庭生活の充 実】	1	大野さんの歌から自分と 母親との関係を見つめ直 す春菜の姿を通して、父母 や祖父母に対する敬愛の 念を深め、家族を大切に しようとする態度を育てる。	1 自分と家族との関係を振り返る。 ○家族の大切さを感じるの、どんな時だろう。 2 「テーブルの卵焼き」を読み、家族の大切さについて話し合う。 ●『天使の舞い降りた朝』の中で、大野さんがなくなったお母さんにいちばん伝えたいことはなんだろう。 ●春菜はどうして、「朝の卵焼きが、まだ残っていますように。」と祈ったのだろう。 ●家族の一員として、あなたにできることはなんだろう。 3 家族を大切にすることについて、本時の学習をとおして考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 自分と家族とのよりよい関係について、春菜の思いや大野さんのメッセージ、友達を考えなどから考えを深めている。 【自分のこととして考える】 家族を大切に生活することについて、春菜の心情を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	技術・家庭(家 庭分野)	
2 月 ④	26 足袋の季節  「思いやりの心、人間 愛」  【B 思いやり、感謝】	1	おばあさんの思いやりに 感謝し、自分の弱さを見つ め、たくましく生きる「私」 の生き方を考えることを 通して、多くの人々の善意 により今の自分があるこ とに気づき、思いやりあ ふれる人間愛の精神を深 めようとする態度を育てる。	1 本時の学習テーマをつかむ。 ○「あのことがあるから今の自分がある」と思った経験はあるだろうか。 2 「足袋の季節」を読み、思いやりについて話し合う。 ●「私」が「むしように自分に腹が立った」のは、どうしてだろう。 ●「私」が、「あのおばあさんが、私にくれた心を、今度は、私が誰かにさしあげなければ」と考えたのは、どんな気持ちからだろう。 ●人が人を思う気持ちについて、自由に話し合ってみよう。 3 本時の学習を振り返り、自分自身の生き方を見つめる。	【多面的・多角的に考える】 「思いやり」について、その場で目に見えるものだけでなく様々な形の思いやりがあること、人は「思いやり」で支えられて生きていることなど、多面的・多角的に考えている。 【自分のこととして考える】 「私」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。		
	27 憧れの消防団  「社会連帯の自覚」  【C 社会参画、公共の精 神】	1	「僕」と消防団との交流を 通して、社会連帯の意義と 価値についての理解を深 め、社会をよりよくする ために主体的に関わって いこうとする実践意欲を 育てる。	1 ボランティア活動の経験について出し合う。 ○ボランティア活動をしたことがあるだろうか。 2 消防団について理解する。 3 「憧れの消防団」を読み、社会の一員としてどう行動すべきか話し合う。 ●「いつか僕もその一員になればと強く思う」主人公を、あなたはどう思うだろうか。 ●ボランティア活動で大切なことはなんだろう。 ●社会の一員として生きるということはどういうことだろうか。考えてみよう。 4 本時の学習で感じたことや考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 社会連帯の意義や価値について、違う立場、違う場面で、多面的・多角的に考えを深めている。 【自分のこととして考える】 「僕」の心情を共感的に捉え、自分の体験と重ね合わせ、社会をよりよくするために自分なりの関わり方を見つけようと考えを深めている。	社会（公民的 分野） 職場体験学習 ボランティア 活動	目標 13

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
2 月 ④	28 償い  「人間としての誇り」  【D よりよく生きる喜び】	1	加害者・被害者双方の悩み、苦しみ、良心を考えることを通して、人間には弱さや醜さもあるが、それを克服し気高く生きようとする心があることを理解し、人間としてよりよく生きていこうとする態度を育てる。	<b>1 人間としてよりよくあるとはどういうことかについて関心を高める。</b> ○人間ってすばらしいなと思った経験はあるだろうか。 <b>2 「償い」を読み、ゆうちゃんと被害者の奥さんの心の葛藤について話し合う。</b> ●「償いきれるはずもないあの人」から手紙をもらったゆうちゃんは、どんな気持ちだっただろう。 ●自分が「あの人」だったら、どう行動しただろうか。 ●人間のやさしさとは何か、人間の哀しさとは何か、話し合ってみよう。 <b>3 本時の学習を振り返って、考えをまとめる。</b>	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 友達の考えやゆうちゃんの生き方を自分の考えと比較しながら、弱さを克服しよりよく生きていこうとすることについて考えている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 登場人物双方の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	社会（公民的分野） ボランティア活動	
3 月 ②	29 旅立ちの日に  「集団の一員として」  【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	卒業式に臨む姿勢を考えることを通して、自分たちの学校を改めて見つめ直し、学校の一員として自分にできることは何かを考えようとする態度を育てる。	<b>1 これまで参加してきた卒業式を振り返る。</b> ○卒業式は、誰のために、なんのためにあるのだろう。 <b>2 「旅立ちの日に」を読み、卒業式の意義について話し合う。</b> ●「なんとなく口だけは開けて」歌っていた「僕」は、どんなことを考えていたのだろう。 ●「僕も本気で歌うよ」と大声で言った「僕」は、何に気づいたのだろう。 ●学校の一員として、あなたは誰に、何を伝え、何を残して卒業していきたいだろうか。 <b>3 3年生として卒業式にどう臨みたいか、自分の考えをまとめる。</b>	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 登場人物の立場に立って考え、議論することで、3年生として卒業式にどのように臨むべきかについて、考えを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 卒業式は、誰のために、なんのためにあるのかについて、「僕」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えている。	音楽	
	30 もう一つの時間  「自然と自己との関わり」  【D 感動、畏敬の念】	1	筆者が自然と向き合う中で考えたことを通して、人間の力を超えたものに対して美しさや気高さを感じ、自然の中で生かされていることを自覚して、自己のあり方・生き方を深めていこうとする心情を育てる。	<b>1 二枚の写真から、教材への関心を高める。</b> ○自然の風景に心を動かされたり、自然の不思議さを感じたりしたことはあるだろうか。 <b>2 「もう一つの時間」を読み、人間と自然の関わりについて考える。</b> ●「全てのものに平等に同じ時間が流れている不思議さ」とは、どういうことだろうか。 ●「僕」はなぜ、もう一つの時間が流れていることを意識できるかどうかは、天と地の差ほど大きいと考えるのだろうか。 <b>3 星野さんのメッセージを通して考えたことを、自分なりにまとめる。</b> ●二枚の写真にタイトルをつけてみよう。	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 「もう一つの時間」が意味することについて、筆者や友達の考えを共感的に捉えながら、多面的・多角的に考えを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 人間の力が及ばない悠久の自然を認識し、人間としていかに生きるかについて、自らの経験と重ねて考えを深めている。	国語	
補 充 教 材	31 駐車場係として  「自分にできること」  【A 自主、自律、自由と責任】	1	自分の役割を放棄して試合を見に行こうとした「僕」の心情と行動の是非を話し合うことを通して、自分の役割を忠実に果たすことの大切さに気づき、責任ある行動をとるための判断力を育てる。	<b>1 裏方の役割を担った経験を出し合う。</b> ○自分の役割を最後までやりとおせなかった経験はないだろうか。 <b>2 「駐車場係として」を読み、役割を誠実に果たすことの意義について話し合う。</b> ●キャプテンの試合を見ようとコートに向かった「僕」を、あなたは思うだろうか。 ●「僕」が駐車場係の仕事に戻ったのは、どんな気持ちからだろう。 <b>3 自分の行動を決める時に大切にすべきことを考える。</b> ●自分の行動を決める時に大切なことは何か、考えてみよう。	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 自分の役割を誠実に果たすことの大切さについて、今自分が置かれている状況や他者への影響という視点から考えを深めている。 <b>【自分のこととして考える】</b> 自分の役割を誠実に果たすことについて、「僕」の葛藤を共感的に捉えながら、自らの経験と重ねて納得解を導き出している。	学校行事 生徒会活動	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
補 充 教 材	32 音楽は対話の始まり  「よりよい社会の実現」  【C 社会参画，公共の精神】	1	五嶋みどりさんの生き方や考え方を通して，社会参画や社会連帯についての考えを深め，よりよい社会を実現するために進んで社会と関わり積極的な生き方をしようとする実践意欲を育てる。	1 五嶋みどりさんについて知る。 ○「社会の役に立つ」って，どういうことだろう。 2 「音楽は対話の始まり」を読み，みどりさんの生き方から感じたことや考えたことを話し合う。 ●音楽をとおしたみどりさんの活動は，どのように変化していったらう。 ●みどりさんの生き方から学んだことを出し合おう。 3 自分がこれから社会とどのように関わっていききたいかについて，考えをまとめる。 ●社会貢献のために「今，自分ができること」「これからできるようにしたいこと」を考えてみよう。	【多面的・多角的に考える】 音楽を通した幅広い社会貢献活動を行うみどりさんの生き方を多面的・多角的に考えることで，社会に関わり続けることの大切さについて考えを深めている。 【自分のこととして考える】 みどりさんの音楽に対する深い思いを共感的に捉え，その音楽を通して社会の役に立とうとすることの大切さについて，自らの経験と重ねて考えを深めている。	社会（公民的分野） 芸術鑑賞教室	
	33 琵琶湖の水を京都に送る ～郷土の復興に尽くした北垣国道と田辺朔郎～  「郷土の先人への尊敬と感謝」  【C 郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度】	1	琵琶湖疏水の建設に尽力した先人の思いと，そのことから郷土について深く考える「僕」の思いについて話し合うことを通して，先人への尊敬と感謝の念を深め，郷土に対して主体的に関わっていこうとする態度を育てる。	1 自分の住む町のよさについて話し合う。 ○あなたが住んでいる地域のよさや，自慢したいことをあげてみよう。 2 「琵琶湖の水を京都に送る」を読み，郷土の復興にかける思いについて考え，話し合う。 ●資金の不足や住民の反発などの困難がある中で，北垣はなぜ，疏水計画を実現させようとしたのだろう。 ●「今も支えてくれている」北垣と田辺の二人の業績について，あなたは どう思うだろうか。 3 地域の発展について，自分のこととして考える。 ●地域の発展のために，あなたが大切にしていこうと思うのはどんなことだろう。	【多面的・多角的に考える】 困難がある中で疏水計画を実現した北垣と田辺の思いの相違点や共通点を考え，先人への尊敬と感謝の念を深めている。 【自分のこととして考える】 郷土に対する先人の思いと，「僕」の「今も支えてくれている」という心情を共感的に捉え，自分と郷土との関わりと重ねながら考えを深めている。	社会（歴史的分野）	目標9
	34 世界に誇る「BONSAI」  「日本の伝統・文化の継承」  【C 我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度】	1	盆栽師加藤三郎の思いを考えたことを通して，我が国の伝統や文化を継承していくことの重要性に気づき，自国の文化を尊重しようとする態度を育てる。	1 日本の伝統文化で連想するものを出し合う。 ○日本の伝統文化には，どのようなものがあるだろう。 2 「世界に誇る『BONSAI』」を読み，日本の伝統や文化について考える。 ●留吉は，戦争中，どんな思いで盆栽を守り続けたのだろう。 ●（エソマツ，お前，出世したなあ……。）には，三郎のどんな思いがこめられているだろう。 ●日本の伝統文化で受け継いでいきたいもの，世界に発信したいものはなんだろう。 3 日本のよさについて，自分との関わりについて，考えを深める。	【多面的・多角的に考える】 盆栽を守り広めてきた先人の思いを捉え，時代の推移の中で伝統文化のよさについて考えを深めている。 【自分のこととして考える】 興味をもって教材に向かい，日本の伝統や文化のよさや，自分がこれからどう向き合っていくかについて考えを深めている。	美術 音楽	
	35 カムイモシリとアイヌモシリ  「自然への畏敬」  【D 感動，畏敬の念】	1	アイヌ民族における自然との関わり方について考え議論することを通して，自然の中で生きることへの考えを深め，自然への畏敬の念をもちながら自然と共存していこうとする実践意欲と態度を育てる。	1 自分たちを取り巻く自然の捉え方について考えを出し合う。 ○あなたは，どんな時に，自然のありがたさや偉大さを感じるだろう。 2 「カムイモシリとアイヌモシリ」を読み，自然の捉え方と関わり方について話し合う。 ●アイヌの人たちは，自然をどのように捉えているだろう。 ●アイヌの人たちが考える「人間と自然とのよい関係」から，どんなことを感じただろう。 3 自分が自然をどのように捉え関わっていききたいか，考えをまとめる。 ●あなたはこれから，自然とどのように向き合っていこうと思うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 自然と人間の関係や自然とともに生きるための態度について，アイヌの人たちの自然観と生き方を理解しながら考えを深めている。 【自分のこととして考える】 自然への畏敬の念をもって共存していくために大切にすべきことについて，自らの生活と今後にかけるように考えを深めている。	理科 自然体験学習	